キャラクター名
上野谷　翔輝（うえのや　しょうき）

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー サラマンダー	ワークス	不良学生(BC)C	カヴァー	不良学生
オプショナル		年齢	17	性別	男
覚醒	素体	衝動	憎悪	初期侵食率	34 %
出自	貧乏	経験	永遠の別れ	邂逅	恩人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4		0			4
感覚	0	1	0			1
精神	2		0			2
社会	2		0			2

HP	30
行動値	4
(非装備時)	4
戦闘移動	9
全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃	2		ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：裏社会	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
鋼の拳	白兵	4r+5	1	5		
	白兵	15r+5		20		
	白兵	20r+5		23		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
選ばれし者	P	N		
契約を違えたやつら	P　執着	N　憎悪		
都築京香	P　尽力	N 不信感		
梨里徳昭	P　遺志	N　侮蔑		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセ:サラマンダー	2	2	メジャー					
効果：	C値-[lv]							
炎神の怒り	5	3	M/R					
効果：	【肉体】の判定+[lv+1]、HP-3							
煉獄魔神	5	3	メジャー			対決	リミット	
効果：	攻+[lv*3]、炎神の怒りの効果でHPを消費しない							
結合粉砕	5	4	メジャー			対決		
効果：	装甲無視、判定+[lv]							
アップドラフト	★		メジャー	至近	範囲（選択）	自動		
効果：	上昇気流を作り自分と周りの者を飛行状態にする。							
不燃体	★		常時	至近	自身	自動		
効果：	炎や寒さからダメージを受けない							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

『ドック・アンド・マーダラー』
PC5　ロイス：梨里　徳昭　遺志/侮蔑
君の目前で、弟分が当て逃げされて怪我を負った、相手はバカ高そうな高級車。
そのシートにふんぞり返るように座っていた偉そうな面は、君でも知っている大物政治家だった。
だとすれば、君が何を叫ぼうが誰も耳を貸さないだろう。
だが、なめられた以上落とし前を付けねばなるまい。

　黒髪黒目の聖徳館高校に通う２年生。報復とお礼は必ず行う事とクソ野郎は必ず叩きのめす事を信条にしている。
格闘技術による腕っぷしの強さは２年生の中でも指折りだが、特定のグループには属していない。
３年の浅井、２年の上野谷との呼び声が高い（舎弟談）
貧しい家に生まれて１２歳の頃に親は蒸発して、残った弟と二人で生きていく事となった。翔輝はできる限りの労働あるいは悪事を行い弟を養っていたが、弟は生まれつき体が弱く徐々に弱っていった。
　ある日「我々の研究の被験体となるのであれば、その子を治療してやろう。」と持ち掛けたスーツ姿の男が現れて、翔輝は悩んだ末日に日に弱っていく弟ために被験体となった。
　被験体の日々は薬物による苦痛と実験と称した動物か被験体同士での殺し合いであった。それらに耐える又は勝利すれば「素晴らしい」と褒めちぎり様々な物を用意してくれた。本当は弟に会いたかったが「被験体の体調が外で悪化した場合の対処ができないため外出を認められない。」と言われ連絡すら認められなかった。仕方ないので次回も勝てるように格闘技と勉強を教えてもらうことにした。
　そして３年ほどが過ぎて「これが最後の実験だ。見事に耐えて見せたまえよ。」と最後の薬を投与された翔輝は、激しい痛みと苦しみが襲うが次第に収まる代わりに熱が、炎が体から噴出していた。
「おめでとう、これで君もオーヴァードへとなった。我々の一員だよ。」
オーヴァードとなった後は、組織の属し仕事を行えば衣食住は保証するし弟の生活も保障すると言われ渋々組織に入る事となった。
仕事は実験台の後始末や敵対勢力の殲滅だったけれど苦ではなかった。何よりも弟にたまに会えることが嬉しかった。